

町田市教育委員会会議
教育長 小池愼一郎 様



請願第5号

2026年7月17日

2025年4月11日町田市教育委員会会議の会議録が
公文書偽造であるのか否かを明らかにするために
市教育委員会は市民と一緒にその録音を聴きましょう(請願)

豊かな教育と公正な税金の運用を求める会
事務局

連絡先

電話



(請願の要旨)

2025年4月11日町田市教育委員会会議録が、公文書偽造であるのか否かを明らかにするために、町田市教育委員会は市民と一緒にその録音を聴きましょう。

(請願の理由)

今日は意見陳述の機会を与えてくださり、ありがとうございます。
南成瀬に住んでいる佐藤と申します。

【ウソをつくことに慣れてはいけません】

2025年6月17日に公開された「2025年4月11日教育委員会会議の会議録」には、わかりやすく大変幼稚な「文書偽造」がされています。

請願第1号(南大谷小学校の存続を求める請願)の審議において、教育長に続いて森山委員が「願意には沿えない」という趣旨の意見を述べた後に、

○他委員 同感です。(8ページ下から11行目) と(誰も言っていないのに)
加筆して、多数決を採ったように取り繕います。

○教育長 今、森山委員から願意に沿えないというご意見をいただきました。また、他の委員からも同様の意見が出たと思っております。

もともとは、教育長が「他の委員からも同様の意見が出たと思っております」と言っていますが、後から「他委員 同感です」と加筆した時に、「意見が出ました」と訂正すれば(辻褄が合って)良かったのに。

そのままだったので、「他委員 同感です」と言ったはずなのに、「教育長 他の委員から同様の意見が出たと思っております」とチグハグで、手の内がバレバレです。

請願第2号～第12号においても、(教育委員は誰も言っていないのに)
「他委員 同感です」と加筆して、文書偽造しています。

請願第2号 ○他委員 同感です。(13ページ1行目)

請願第3号 ○他委員 同感です。(18ページ下から5行目)

請願第4号 ○他委員 同感です。願意に沿えません。(18ページ17行目)

請願第5号 ○他委員 同感です。(31ページ下から9行目)

請願第6号 ○他委員 同感です。(37ページ下から2行目)

請願第7号 ○他委員 同感です。(43ページ下から7行目)

請願第8号 ○他委員 同感です。(51ページ3行目)

請願第9号 ○他委員 同感です。(56ページ下から3行目)

請願第10号 ○他委員 願意に沿えません。(65ページ14行目)

請願第11号 ○他委員 同感です。(72ページ14行目)

請願第12号 ○他委員 同感です。(81ページ14行目)

教育委員会会議の「会議録」で、請願の審議において「他委員 同感です」という記載があるのかどうか調べてみると、横浜市・相模原市・文京区・世田谷区・板橋区・八王子市・多摩市・立川市・鎌倉市など他の自治体ではありません。

また、町田市においても、2024年度までの教育委員会会議では、請願の審議において、「他委員 同感です」という記載はありませんでした。

【町田市議会本会議(2025年12月4日)

新井よしなお議員(質問)と学校教育部長(答弁)とのやりとり】

●2025年4月11日町田市教育委員会会議の会議録に

「他委員 同感です」との記載があることについて

新井議員：ほかの委員が、せいの、「同感です」とや(言)ったんでしょうか。

学校教育部長：(意見を述べた委員のほかの)

全教育委員から「同感です」という発言がありました。

(新井議員と学校教育部長のやりとりを聞いて、笑っている議員もいました)

12件の請願がありましたが、学校教育部長は、(意見を述べた教育委員のほかの)「全教育委員から『同感です』」という発言がありました」と答弁してるので、そうすると、「同感です」と言った回数は、

後藤良秀教育委員 8回

森山健一教育委員 9回

井上由奈教育委員 8回

関根美咲教育委員 8回

になります。はたして、後藤教育委員、森山教育委員、井上教育委員、関根教育委員は、それぞれの回数、「同感です」と言ったのでしょうか。

2025年4月11日町田市教育委員会会議の傍聴をしていましたが、どの教育委員からも、一度も「同感です」という発言・声は聞いておりません。

(こんなに「同感です」という発言の回数が多いのに、一度も聞こえないというのは、おかしいですね)

【実際どうだったのか、確かめる方法は簡単です】

教育委員会会議では、速記会社が録音して、その録音（音声データ）をもとにして「会議録」を作成しています。

その録音（音声データ）を、教育委員会と市民と一緒に聴いて、その中で他委員が「同感です」と言っていれば、教育委員会の会議録は正確ですし、「同感です」の発言・声が聞こえなければ、会議録の文書偽造になります。

「モラルの崩壊」によって、「公文書偽造」は起こり、町田市教育委員会自体も崩壊していると言わざるをえません。

【市教育委員会が市民と一緒にその録音を聴くことは、簡単にできます】

○2026年3月31日に、中央区の区役所で、情報公開係を窓口にして、教育委員会の担当者と一緒に、教育委員会会議の録音（音声データ）を聴きました。特に問題になることは何もなく、そのまま会議の様子がわかり、1回聴けば、それで充分でした。町田市でも、簡単にできます。

町田市教育委員会は、会議録の公文書偽造したと言われており大変なわけですから、録音を市民と一緒に聴いて、スッキリさせるのが良いです。

【町田市教育委員会は、事実上「公文書偽造」をしたことを認めています】

教育委員会が「教育委員会会議の会議録の文書偽造をした」と疑われた場合、教育委員会としてその疑義を晴らす＝解決する方法はあります。

教育委員会会議では、速記会社が録音して、その録音（音声データ）をもとにして「会議録」を作成しています。

その録音（音声データ）を、教育委員会と市民と一緒に聴けば良いだけです。

2026年2月6日・4月15日・6月5日の教育委員会会議において、学校教育部長は、「市民と一緒に録音（音声データ）うい聴くことはございません」と述べていますが、（もし会議録どおりに録音にその発言があるのなら市民と一緒に聴けば良いだけなのに、たったそれだけのことをしないのでは）

事実上「公文書偽造をしたこと」を認めたことになります。

【名誉棄損の訴えを起こすこともできます】

「町田市教育委員会が会議録の公文書偽造をした」と言われるのは大変なことですから、名誉棄損の訴えを起こすこともできます。

その時は、日本の裁判は原告立証主義ですから、「町田市教育委員会が会議録の公文書偽造をしていない」ということを証明しなくてはなりません。その証明には、その録音（音声データ）が必要になります。町田市教育委員会は、「公文書偽造は行っていない」と言ってるだけで、その証明がありません。

市民として、このような町田市教育委員会を大変恥ずかしく思います。

【他の自治体の教育委員会では】

他の自治体では、教育委員会会議の「会議録」の文書偽造は行っていません。それは怖いことですし、元々文書偽造をする必要もないからです。

千代田区は、教育委員会会議の録画を、2日後からホームページで公開しています。私も、その千代田区の教育委員会会議の録画を、インターネットで見ました。

また、文京区・世田谷区・杉並区・中野区・目黒区・練馬区・板橋区・お隣の横浜市・相模原市・八王子市・多摩市・立川市・鎌倉市などでは、教育委員会会議の録音・音声データを情報開示して、録音（音声データ）が私の所に届いています。

情報公開請求に際して、数多くの教育委員会と話をしていますが、真面目に仕事をしていると感じます。

町田市にも、教育委員会会議の録音（音声データ）の情報公開請求をしています。が、町田市だけが情報開示せず、会議の録音・音声データを出しません。

【教育委員一人ひとりを大切に】

教育委員も一人ひとり自由意思を持って、本来は大切な仕事をしています。教育委員会の都合で、「実際は言ってないのに、教育委員が言ったことにする」のは、教育委員に対して基本的人権の侵害であり、それぞれの教育委員がたいへん気の毒です。

子ども達の教育にたずさわる教育委員会ですので、町田市教育委員会は、教育委員一人ひとりを大切にしたいです。

また、それぞれの教育委員も、子どもたちの教育にかかわる仕事をしているだけに、「内なる私」を大切にして、ご自身の「教育」・「発達＝深まり」に努められることを望んでいます。